

- ③ 競技中の不慮の出来事による途中棄権が発生した場合、コールドゲームを適用し、棄権したチームに対しては、試合経過の如何を問わずコールド負けを適用する。

3) 試合終了時、同点の場合は、審判立会いの下、最終回出場メンバー 9 名による『同時ジャンケン』により勝敗を決する。

5. 決勝戦

1) A ゾーンについて

- ① 7 回戦、または試合時間を 2 時間（不慮の事故の発生によりその解決に要した時間を除き、交代、疑義などの話し合いの時間を含む）とし、1 時間45分を越えて新たなイニングに入ることには出来ない。但し、イニングの経過中の場合は、そのイニングの終了までとする。
- ② 最終回終了時点で同点の場合は、最終回出場メンバー 9 名による『同時ジャンケン』によって勝敗を決する。

2) B・C ゾーンについては

- ① 5 回戦、または試合時間を 1 時間30分（不慮の事故の発生によりその解決に要した時間を除き、交代、疑義などの話し合いの時間を含む）とし、1 時間20分を越えて新たなイニングに入ることには出来ない。但し、イニングの経過中の場合は、そのイニングの終了までとする。
- ② 最終回終了時点で同点の場合は、最終回出場メンバー 9 名による『同時ジャンケン』によって勝敗を決する。

6. 各ゾーンにおける最終順位の決定。

1) 優勝チーム、準優勝チームは当然 1 位、2 位となり、3 位及び 4 位は、準決勝の得失点差の大きいチーム、次に失点の少ないチームを上位とする。さらに同じ場合は、準決勝戦で優勝チームと対戦したチームを 3 位とし、4 位は準決勝戦で準優勝チームと対戦したチームとする。

2) 5 位以下は、予選リーグでの成績順とする。

- ① 勝ち点については、8. 附則 5) を参照。
- ② 勝ち点の多いチームを上位とする。
- ③ 勝ち点と同じ場合は、得失点差の大きいチーム、さらに同じ場合は、総失点の少ないチームを上位とする。
- ④ さらに同じ場合は、連盟会長立会いの下、対象チームの代表 1 名によるジャンケンにて決める。

3) 予選リーグを棄権したチームは、無条件にそのゾーンにおける最下位とする。

4) 準決勝、決勝トーナメントを棄権したチームは、下位となる。

7. 各ゾーン間でのチームの入れ替えについて。

1) 今大会の成績により、次回大会における各ゾーンでの参加チーム編成に関わる移動を次のとおりとする。

- ① A ゾーンの下位 2 チームは B ゾーンへ。
- ② B ゾーンの上位 2 チームは A ゾーンへ、B ゾーンの下位 2 チームは C ゾーンへ。
- ③ C ゾーンの上位 2 チームは B ゾーンへ入れ替えとなる。